

アーツカウンシル東京 令和4(2022)年度 第4回 スタートアップ助成 対象事業決定のお知らせ

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、東京の芸術文化の魅力を向上させ、世界に発信していく創造活動や、地域の文化や伝統芸能の振興、社会や都市の様々な課題に取り組む芸術活動を支援しています。

このたび、令和4(2022)年度 第4回 スタートアップ助成の対象事業を決定いたしました。

今回は、190件の申請があり、52件を採択いたしました(採択率27.4%)。助成予定総額32,658千円です。

■ 令和4(2022)年度 第4回 スタートアップ助成 申請・採択件数

	申請件数		採択件数	
	個人	団体	個人	団体
音楽	16	41	2	12
演劇	18	35	8	9
舞踊	9	11	3	3
美術・映像	24	9	7	2
伝統芸能	4	7	3	2
複合	5	11	0	1
合計	76	114	23	29

・対象期間 :2023年4月1日以降に開始し、2023年12月31日までに終了する事業

■ 令和4(2022)年度 第4回 スタートアップ助成 採択事業 一覧

申請190件、採択52件

(単位:千円)

活動分野	活動内容	実施場所	団体/個人	申請者名	事業名	助成金 交付決定額
音楽	都内での芸術創造活動	都内	団体	Duo NéMeu	Duo NéMeu ファーストリサイタル (仮)	661
				こんどらベースオブアーツ	Bass For the Future!(仮)	307
				シバムジーク	日本オペラの今昔をめぐって (仮)	1,000
				Verset Versé	Verset Versé 1st. Concert フランス合唱音楽の諸相 (仮)	781
				Team Liaison	Team Liaison	1,000
				合同会社無名	ゴシック・アンド・ロリータ (仮)	1,000
				Ensemble Academia Musica	「快楽の庭園」〜クロムニエジーシュ城に響いた音楽 (仮)	454
				Novanta Quattro	ドニゼッティ《愛の妙薬》ーコンメーディア・デッラルテによるオペラの異化効果の追究 (仮)	1,000
				ミヒヤエル・ハイドン・プロジェクト	ミヒヤエル・ハイドン・プロジェクト#07オーストリアで歌い継がれた祈りの響き『ミヒヤエルからシューベルト、ブルックナーへ』 (仮)	1,000

活動分野	活動内容	実施場所	団体/個人	申請者名	事業名	助成金 交付決定額			
音楽	都内での芸術創造活動	都内	団体	あちらこちら	あちらこちら in 銭湯 (仮)	890			
				Old instruments Research Project	イスラエルの泉(仮)	1,000			
				コンサートプラン・クセジュ	オマーージュとヒストリエ	1,000			
			個人	中山加琳	城への招待 ヴァイオリン×クラリネット×ピアノデュオによる夏のコンサート (仮)	300			
				金ヨハン	生成/共感/合意…「楽器」を分かち合う音楽聴取(仮)	300			
演劇	都内での芸術創造活動	都内	団体	長澤脚本河原演出企画	長澤脚本河原演出企画 vol.2『偽義疑戯』 (仮)	1,000			
				特定非営利活動法人Deku Art Forum	下北沢国際人形劇フェスティバル ed.0 (仮)	1,000			
				演劇ユニット「鳴蒲牢」	舞台「ハニハハラ～趙氏孤児大報警～」 (仮)	1,000			
				カハタレ	カハタレ第一回公演「気遣いの幽霊」 (仮)	652			
				ムケイチョウコク	ムケイチョウコクイマーシブシアター「反転するエンドロール」	1,000			
				東のボルゾイ	東のボルゾイ新作音楽介在会話劇 ETHICS MAJOR COMEDY『イエスと言え』	1,000			
				&Co.	「罵倒の作法」03 司辻有香新作戯曲を上演する-1	500			
				紙魚	紙魚新作公演 (仮)	919			
				TeXi's	TeXi's 第三回公演「春琴抄」(仮)	960			
			個人	碧さやか	建物と記憶 (仮)	300			
				平井光子	華氏同盟 IV	300			
				黄淑玥	EXPECT	300			
				梢はすか	厄介払わない (仮)	160			
				三浦琉希	ユニット『Qualia』	300			
				稲川悟史	<映像演劇>まわるランドルト環(仮)	300			
				藤井ちより	『キューちゃんは僕を探さない』	274			
				キキ花香	thinking about us 考えるについて私達 (仮)	300			
			舞踊	都内での芸術創造活動	都内	団体	燦然CAMP	G感覚	900
							room. Onaya Rion	room. Onaya Rion 「sanagi」 (仮)	1,000
個人	宮崎あかね	宮崎あかねダンス公演 「水際の正体」				300			
	若羽幸平	おどらない、からだ				300			
	石原一樹	ダンス公演『ナルシスの告白』 (仮)		300					
国際的な芸術交流活動	海外	団体	LOCUS	2023 City Dance Festival Washington DC	1,000				

活動分野	活動内容	実施場所	団体／個人	申請者名	事業名	助成金 交付決定額
美術・映像	都内での芸術創造活動	都内	団体	合同会社Souya Handa Projects	public void capitalism() (仮)	1,000
				Post Passion Fruits	故郷メタバース探索ツアー展 (仮)	1,000
			個人	メカラウロコ	エコーエコーエコー。(仮)	300
				ヤマウチフミト	都市-地方 (仮)	300
				工藤雅	JOHAN ⇄ KUDO往復書簡 (仮)	300
				矢野紗季	映像、絵画、立体、パフォーマンス (仮)	300
				シャロンリユー	有楽町からヤンゴンへ	300
				南壽イサム	生きる④南壽イサム『材木屋の実家から都内の製材所へ、更に家族へ』 (仮)	200
	国際的な芸術交流活動	海外	個人	加藤明洋	WRO BIENNALE 2023: FUNGIBLE CONTENT	300
伝統芸能	都内での芸術創造活動	都内	団体	亜佐佳・亜美デュオの会	第3回 池上亜佐佳 山本亜美 デュオリサイタル 十七絃箏 二十五絃箏	1,000
				結の会	結の会主催「結の会」	1,000
			個人	沢井麗	沢井麗 箏リサイタル (仮)	300
				初代常磐津千寿太夫	常磐津千寿太夫演奏会 vol.2名曲の継承	300
あかる潤	大正時代からのメッセージ 弘田龍太郎と北原白秋・島崎藤村の歌 (仮)	300				
複合	都内での芸術創造活動	都内	団体	さかさ舟	現代サーカスカンパニーさかさ舟公演『船底に座す(仮)』	1,000

■ 令和4(2022)年度 第4回 スタートアップ助成 採択結果の概況

スタートアップ助成は令和3年度に新設された助成制度です。2年目の令和4年度第4回の本公募では、190件の申請がありました。令和4年度第2回(88件)、第3回(119件)と申請件数が減少していましたが、今回は申請件数の増加がみられました。全体の傾向としては、企画面、予算面ともに着実な計画の練られた申請が増加したこと、過去の申請者の再チャレンジが散見されたことがありました。公募ガイドラインに記載されている申請の要件に合わないものは一定数みられるものの、その数の減少がみられました。申請書の作成にあたっては、公募ガイドラインやQ&Aを事前に良くご確認いただくことをお願いします。本助成では、都内での事業を初めて企画・主催する新進の個人・団体によるトライアルの事業、過去数回の実績を経て企画内容やキャリアの拡充を図るステップアップの事業、さらに、個人として実力を認められている芸術家が団体を結成し、新たな企画やプロデュースに着手する事業など、積極的なチャレンジを行う事業が採択となっています。また、事業の目指すべき目的が明確であり、それを実際にどのように具体化するのかが示されており、実現にあたっての予算やスケジュールが適切に計画されているものが採択となっています。令和5(2023)年度も、スタートアップ助成は年4回の公募を予定しており、申請方法はオンラインに変更になります。申請にあたっては、対象期間を確認の上、事業の具体性や実現性を明確にして適切な時期にご申請いただきますようお願いいたします。

● 音楽分野

申請件数は57件、うち14件が採択となっています。採択された事業は、聴衆参加型のインプロビゼーション公演、日本歌曲に着想を得て新たに手掛けられる創作オペラ、古典から現代にいたるフランス合唱作品を取り上げるコンサート、若手作曲家によるチェロとコントラバスのデュオ企画、銭湯を舞台とする回遊型演奏会など多種多様です。音楽分野の申請傾向としては、現役学部生・大学院生からの申請が増加している点が挙げられます。申請に際する年齢制限がないこと、在学中から挑戦できることへの理解が徐々に広まっている印象です。またスタートアップ助成への申請歴のある申請が全体のおよそ2割を占めました。その中でも、再挑戦から採択に至った申請は、事業の目的やプログラミングの独自性や挑戦性に対する説得力が高く、過去の申請内容に対する省察をふまえ、事業それ自体がブラッシュアップされていた点が共通しています。

● 演劇分野

申請件数は53件で17件が採択となり、過去最高の採択件数となりました。20代から30代の申請が全体の約7割を占め、これまで演劇活動で研鑽を積んだ申請者が初めて行う主催公演など、キャリアにおいて新たな取組に挑戦する事業が8件採択に至りました。過去に不採択となった事業をブラッシュアップして今回採択された事業や、映像演劇、体験型演劇、フェスティバル実施に向けたプレ事業など、様々な企画が採択されています。事業内容が具体的かつ目的が明確で、表現内容の独自性が申請書内で言語化できている事業が採択に繋がっています。ガイドラインにある「審査の観点」のうち、どの点にあてはまる事業なのかが伝わるように申請書を記載いただければと思います。都内の事業の申請で、申請者が主催者と異なっていたり、予算書の間違いもあるため、提出前に再度ご確認をお願いします。

● 舞踊分野

20件の申請があり、6件が採択となりました。コンテンポラリーダンス、バレエ、舞踏など申請の多かったジャンルでは、過去に申請のあった事業者や参加者が含まれる事業も多数見られました。その中で、ダンサー・振付家として着実にキャリアを積み、自らが主宰する団体や公演で新たな作品作りやキャリアステージに挑戦する事業などが採択に至りました。中でも、独自の着眼点や挑戦のポイントが明確に示されており、実力のある出演者・スタッフを揃え、観客へのアプローチ方法まで含めて具体的に記載されている事業が高く評価されました。逆に、事業の目的やコンセプトは明確であっても、実施計画や事業内容に不明瞭な点があるもの、それらを裏付ける書類が不足しているものについては、具体性・実現性の観点で評価が下がりました。また、教育普及を主な目的としたものや、核となる人物の活動や評価が既に確立しており、事業自体も申請事業以前に広く展開しているものについては、本助成の趣旨とは合致しないため不採択となりました。

● 美術・映像分野

前回、前々回の公募に比べ申請件数が増え、33件の申請がありました。採択件数は9件、採択率は27.3%と過去最高になっています。今回は作家が新たな一步を踏み出そうとして、それまでの研鑽を展示に昇華する事業が評価されると同時に、ある程度評価を受けている作家でも、自身のルーツに向けた新たな展開を試みようとする企画が採択されました。海外招聘事業や海外作家との共同制作の事業も増え、ポスト・コロナの風が感じられました。不採択となった案件については、うち15%が要件不備でした。ガイドラインの「助成対象とならない事業」「提出書類・資料」をよく読み必要書類を提出してください。また「審査の観点」を参照しながら、事業には誰が参加し、どのような作品、イベントになるのか、できるだけ具体的に書き、申請する事業内容が伝わるようにご記載ください。また、自身の事業内容が、スタートアップ助成の趣旨に合っているか、アーツカウンシル東京の他の助成プログラムと比較・検討のうえご申請をお願いいたします。

● 伝統芸能分野

今回は11件の申請がありました。このうち国際的な事業の申請が3件あり、新型コロナウイルスの感染拡大が落ちついて、海外での活動が増えてきた状況がうかがえます。今回採択に至った5件は、伝統芸能の将来を担う若手によるはじめての主催公演のほか、評価が確立しつつある中堅層の申請者による挑戦性の高い事業でした。不採択になった事業には、具体的内容だけでなくテーマそのものが定まっていないものや、日本文化の普及目的の要素が強い内容のものがありました。当助成は、芸術創造活動のチャレンジを支えるための助成です。申請事業のどういう点がチャレンジなのか、申請者がどのような成長を遂げるために行う企画なのか、ご自身の将来の活躍を見据えた、ステップアップにつながる事業であることが伝わってくる申請に期待します。

● 複合分野

今回、複合分野での申請は16件ありました。採択は1件となりましたが、独自性があり、実現性の高い申請が採択となっています。1つの分野にとらわれない分野横断型や新たな表現方法を作り出そうとしているなどチャレンジ性はあるものの、具体性、実現性が見込まれない申請もみられました。また、過去の実績に団体名が確認できないなど、要件不備のものも見られたため、申請の際は公募ガイドラインの事業及び申請者の要件、審査の観点を確認し、説得力のある申請書の作成をお願いします。

■ 審査プロセス

以下の審査プロセスによって、採択を決定しています。

提出された申請書類をアーツカウンシル東京が精査し、事前調査や外部有識者の意見を踏まえて助成課長が評価案及び採択原案を取りまとめます。その後、アーツカウンシル東京機構長の審議を経て、公益財団法人東京都歴史文化財団が決定します。

令和 5(2023)年度 第 1 回 スタートアップ助成の申請受付期間は 2023 年 4 月 6 日(木)10 時～4 月 20 日(木)18 時です。申請受付開始に先立ち、公募ガイドラインを公開しています。

「スタートアップ助成」は、令和 5(2023)年度 第 1 回よりオンライン申請となります。申請フォームは 3 月 30 日(木)から事前に取得することが可能です。

詳細はアーツカウンシル東京のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/>

<本事業に関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部 助成課 担当：玉虫、井上

TEL : 03-6256-8431 E-mail : startup@artscouncil-tokyo.jp

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 広報担当：糸園、圓城寺

TEL : 03-6256-8432 E-mail : press@artscouncil-tokyo.jp